

NPO 京都コミュニティ放送

第65回番組審議会

開催日時：2012年5月18日（金）14：30～16：00

会場：烏丸ビル2階 Flag 三条

委員総数：9 出席委員数 7 欠席委員数 2

出席委員：中村正 山本時子 ジェフ・バーグランド 市古和弘
津田正夫 井上恭宏 福井秀彦

欠席委員：野池雅人 丸橋泰子

局側委員：隅井孝雄 時岡浩二 町田寿二

ゲスト（番組制作者）：安田義明、DAISUKE

審議番組

「安田義明のラジオポエム」 毎週水曜日 深夜0：15～0：18

詩・朗読：安田義明／音楽：DAISUKE

（男の日常を現代詩のかたちで表現する朗読番組）

最初に5月2日放送の同番組を試聴した後、審議に入る。

審議委員からのコメント：

- ・詩を番組の中で2回読むところが良い。
- ・音楽の制作者の紹介と一緒に詩の作者も2回紹介すると良いと思う。
- ・声でブログを聴いているような感じがする。日記のようだが、自分と社会との関係性が表現されていて、温かい感じもする。
- ・テーマ曲は淡々としている曲調であるところが詩にあっている。川の上でしゃべっているような感じ。
- ・プロが作ったものでない大量生産的でない音楽のイメージと詩の朗読は偶然性を秘めている。
- ・日常生活から湧き出たものを違う角度から表現している。（安田義明氏の東京での単身赴任生活が題材になっている。）
- ・テーマ曲はビート、安田さんの語りが音楽のメロディーとなっている。
- ・朗読収録（自宅）と番組制作を別々の場所で行なっている点はユニークだが、スタジオで収録するメリットもあるので試してみてもよい。マイクの性能も変わる。
- ・詩の朗読はフィラー音楽の代わりに使うとおもしろいのではないか。
- ・詩の朗読、メッセージ、紹介の部分などの間は十分検討してとったほうが良い。短い3分の朗読番組だが全体が作品となる。

以上で審議を終了した。

この審議会の議事録は6月10日から事務所に据置き閲覧できるようにした。
また、6月11日（月）11:00から「番組審議会だより」として放送した。